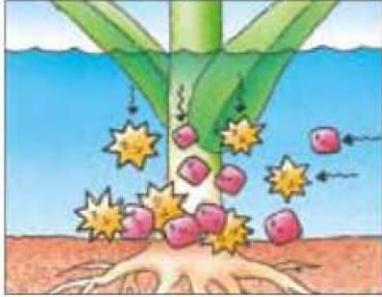


植生水路について

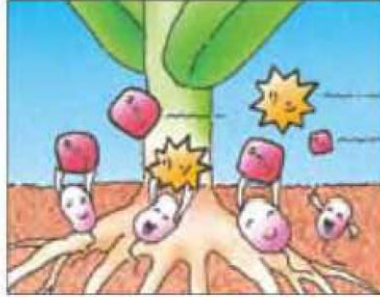
諏訪建設事務所

資料 1 - 3

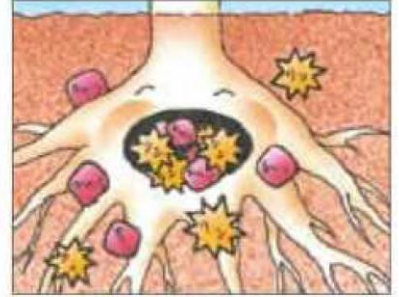
植生水路は、水路内の葦が窒素及びリンを吸収し、成長した後刈り取り搬出することで、諏訪湖に流入する量を減らし、水質浄化を行う方法の一つです。



① 茎との接触による沈殿効果
流水が茎と接触する際に、汚濁物質が沈殿・堆積します。ヨシの密集地帯では、沈殿の効率も高くなります。



② 脱窒、吸着作用による除去
低湿地に生息する脱窒菌は水中の脱窒作用を促進します。また、土壌にはリンを吸収する作用があります。



③ 植生の吸収による除去
ヨシは成長する時に、窒素やリンを栄養分として大量に吸収します。

